

教会創立103周年

週 報

2025 年 10 月 19 日 5364

【今年度のテーマ・聖句】

「共に喜ぶ」

—ハレルヤ わたしの魂よ主を讃美せよ—

わたしたちの一つの体は多くの部分から成り立っています。すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数は多いがキリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。（ローマの信徒への手紙 12 章 4～5 節）

巻 頭 言

牧師 加藤英治

神学校週間を覚えて

私共シオン山教会も加盟している日本バプテスト連盟には、西南学院大学神学部、九州バプテスト神学校、東京バプテスト神学校などの各神学校があり、そこには、将来牧師など教会での働き人となることを目指して、神学を学んでいる方々がおられます。このような人たちが起こされたのは、どんな事があつたのでしょうか。

自分自身の場合でも、また幾人かの方を神学校に送り出したことから、それは何にもまさって神様の働きかけであり力であると思います。人間には、様々な自らの考えや計画がありますが、そういう色々なものを超えて、「神学校に行こう」という思いが与えられるのは、「神の働き」としか言えないところがあります。「神の時とタイミング」としか言えないその時において、人は献身に導かれ、その後の歩みについても、「神ご自身が責任を取ってください」のではないのでしょうか。

もう一つは、教会の祈りと励ましです。教会とその一人ひとりが、日々に「主に仕えていこう、献げていこう」と祈り、励んでいるところでは、「私も主に仕えていきたい、献げていきたい」という人が起こされていくのではないのでしょうか。また、そのような人が起こされたときに、「わかりました、あなたのために祈り、支えて行きますよ」という言葉がかけられていくときに、その人は初めて一步を踏み出すことができるのだと思います。

そのような教会の祈りと励ましを形にし、実践にしたものが、「神学校週間」であり、「神学校献金」なのだと思います。シオン山教会は、多様な形において、多くの献身者を送り出してきかと思ひます。それはまさに、教会の一人一人が「主に仕えていこう、献げていこう」と歩んできた中で起こされたことではなかったでしょうか。このあり方と道を、これからも取り、進んでいきましょう。

日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

TEL:093-561-0772 Fax:093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

神学校週間を憶えて

司会 大森秀夫執事
奏楽 田中秀一兄

前 奏
招 詞 ヨシュア 1 : 6 ~ 7
頌 栄 6 6 9 (みさかえあれ(B))
主の祈り (新生讃美歌の扉を参照)
交 読 1 1 (祈り)
讃 美 5 7 0 (たとえばわたしが)
聖 書 マタイ 2 5 : 1 4 ~ 3 0
(新共同訳 49 p 口語訳 41 p)
祈 禱
子どもメッセージ 加藤英治牧師
讃 美 6 5 3 (いと良きもの ささげよ)
聖歌隊
神学校週間アピール 島田利一兄
宣 教 「築き上げる関係」 石原誠神学生
祈 禱
讃 美 6 5 0 (喜びて主に仕えよ)
献 金 祈り : 二木榮子姉
(受付当番)
頌 栄 6 7 2 (ものみなたたえよ(B))
祝 禱 加藤英治牧師
後 奏
報 告

◎今月の聖句

「神は、その独り子をお与えになったほ
どに、世を愛された。独り子を信じる
者が一人も滅びないで、」永遠の命を
得るためである。」

(ヨハネによる福音書
3 章 1 6 節)

今月の当番役員

島田利一 田中登美子

本日の集会

教会学校

幼小科

1 0 : 3 0 ~ 1 1 : 4 0

中高科、青年・成人科

9 : 3 0 ~ 1 0 : 1 5

主日礼拝の当番

受付 : 二木榮子 持田文重

島田利一(当番役員)

お花 : 庄司まり子

会堂清掃 11 : 50 ~ 12 : 05

昼食 12 : 05 ~ 12 : 55

教会学校懇談会 13 : 00 ~ 13 : 30

執事会 13 : 30 ~ 15 : 30

◎今週の集会(10月19日~25日)

<聖書> ヨナ 4 : 1 ~ 1 1

2 2 日(水) 祈祷会 I 1 0 : 3 0

(奨励 : 加藤英治牧師)

2 2 日(水) 祈祷会 II 1 9 : 3 0

(奨励 : 加藤英治牧師)

今週の聖書日課と祈り

1 9 日(日) ヨナ 3 : 1 ~ 1 0 世良聡子

2 0 日(月) フィリピ 4 : 4 ~ 7 世良優裕

2 1 日(火) 詩編 119 : 137 ~ 114 高崎満

2 2 日(水) マタイ 5 : 6 瀧野有希子

2 3 日(木) 哀歌 3 : 1 8 ~ 2 4 田中秀一

2 4 日(金) マタイ 6 : 2 8 ~ 3 4 田中登美子

2 5 日(土) ローマ 7 : 1 8 ~ 2 5 田中基子